

〔イベント案内〕 <ひょうご安全の日推進事業 全県・地域事業>

■ 第2回震災復興フェスティバル～気持ちの灯を三田から東北へ～〔阪神北地域〕

日時：2014年5月11日(日) 場所：有馬富士公園
 内容：・ボランティア団体による震災絵本の子どもたちへの読み聞かせ
 ・消防署員による災害への備えの講演、煙体験実習等
 ・東日本震災への支援活動

〔被災地の状況のパネル展示、三陸産ホタテ貝を活用した被災地へのメッセージ、三田市内に避難されておられる方との交流、被災地の水産物・工芸品販売等〕

問合せ：(一社)三田青年会議所 tel079-562-2667

■ 室内合奏団 THE STRINGS 第14回室内楽コンサート〔阪神南地域〕

『ヴァイオリンコンチェルト《和声と創意への試み》全曲シリーズ1』
 ～ひょうご安全の日助成事業 震災復興支援チャリティ・防災推進公演～
 日時：2014年5月17日(土)14:00～ 場所：夙川カトリック教会地下聖堂
 内容：東日本大震災被災地での老人ホーム慰問活動等音楽を通じて被災者支援を行ってきた同団体が、南海トラフ巨大地震へ備えて具体的な減災対策についても考える演奏会を開催

鑑賞料：一般2,500円/学生1,500円(全席自由)

問合せ：同楽団事務局 tel078-203-8038

■ 第34回地域安全学会春季研究発表会 公開研究会〔神戸地域〕

日時：2014年5月17日(土)10:00～ 場所：兵庫県立大学防災教育センターほか
 内容：・「復興まちづくり」「事業継続計画」「被災地の応援」等をテーマとする研究会
 ・歌を通じて被災地を元気づける活動を行うシンガーソングライター石田裕之さんのミニコンサート
 ・人と防災未来センターのバックヤードと長田のまちの復興の見学会(有料)

問合せ：地域安全学会事務局 TEL03-3261-6199

自然災害から「住まい」「家財」を守る

フェニックス共済

兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)は、災害発生時に被災した住宅の再建のために住宅所有者が相互に支え合う「住宅再建共済制度」と、早期の生活再建を目指して県民がお互いに助け合う「家財再建共済制度」とにより、自然災害への「備え」を充実させています。

確かな住まいの安心を手に入れませんか。

上乗せ加入でさらに安心!!

一部損壊特約 平成26年8月1日にスタート!

年額500円で補修時等に25万円給付!

※市町が発行する災害証明書で一部損壊(損害割合10%以上20%未満)の認定に限ります。
 ※一部損壊特約のみにご加入いただくことは出来ません。

住宅をお持ちの方の

住宅再建共済制度

年額5,000円で
最大600万円の給付!

住宅にお住まいの方の

家財再建共済制度


年額1,500円で
最大50万円の給付!

賃貸、借家にお住まいの方も入れます!

(公財)兵庫県住宅再建共済基金
 電話 078-362-9400(平日 9:00~17:00)

フェニックス共済 検索

発行 ひょうご安全の日推進県民会議事務局(震災20周年事業担当)
 兵庫県防災企画局復興支援課内 tel078-362-9832 Fax078-362-4459



平成26年4月号

阪神淡路20年—1.17は忘れない—

イベントガイド

発行：ひょうご安全の日推進県民会議

阪神・淡路大震災20年を迎えるにあたり、ひょうご安全の日推進県民会議では、—1.17を忘れない—『伝える』『備える』『活かす』を基本コンセプトに、県内各地で県民のみなさんに参加していただく各種事業を支援します。

防災・減災の活動も含め、阪神淡路20年に関連する事業をイベントガイドとして毎月お知らせします。

〔お知らせ〕

■ 毎月17日は「減災活動の日」です!

ひょうご安全の日推進県民会議では、毎月17日を「減災活動の日」として制定し、県民のみなさんの減災活動を支援します。家族で災害について話し合ったり、住宅内の危険場所や備蓄物資を点検したり、家具固定などに取り組んでみてください。

啓発用のカレンダー等も作成していますので、ご希望の方は事務局までお問合せください。

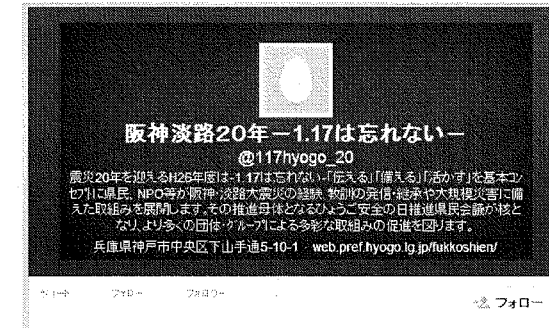


■ 自主防災組織の防災訓練・防災学習会に専門家を派遣します!

南海トラフ地震や風水害などこれから発生する災害に備えて、県内各地の自主防災組織の防災訓練などに防災士等専門家を派遣し、訓練やワークショップへのアドバイスする事業を兵庫県防災士会と一緒に取り組みます。訓練費用に対する助成制度(15,000円)もあります。詳しくは、兵庫県防災士会(tel0798-72-1300)まで。

□ 「阪神淡路20年」の情報を facebook や Twitter で発信中

県や市町、助成団体が実施する各種事業や阪神淡路20年に関連したお知らせを facebook や twitter で発信しています。皆さんもいいね!やシェア、リツイートして、阪神淡路20年の輪を上げましょう。



<https://www.facebook.com/shinsai20>

https://twitter.com/117hyogo_20

■ ひょうご安全の日推進事業(助成制度) 共同事業 17 件を採択しました！

阪神・淡路大震災から20年を機に、特定の分野における復興過程の総括や今後の災害に備える上での課題を自主的・主体的に企画・立案し実施する事業を支援します。

| 事業名<グループ名> | 概要 | 問合せ先 |
|--|---|---|
| 阪神・淡路における市民まちづくり支援の20年と今後の教訓 <復興市民まちづくり支援研究会> | 〔復興市民まちづくり支援の総括と提言〕 20周年を機に被災地域の主体性と専門家の役割等まちづくりにおける課題を検討し、提言を発信 | (特非) 神戸まちづくり研究所 内 tel078-230-8511 |
| 兵庫県NPO中間支援組織の20年 <中間支援の20年研究会> | 〔NPO中間支援組織の検証〕 阪神・神戸大震災後のNPO中間支援の果たしてきた役割やその影響を検証 | (特非) コミュニティ・サポートセンター神戸 内 tel078-841-0310 |
| 阪神・淡路大震災20年事業災害ボランティア支援を考えるフォーラム <災害ボランティア支援フォーラム実行委員会> | 〔災害ボランティアセンターのあり方〕 災害ボランティアセンターのあり方や平時からのネットワークづくり等今後の方向性を検討 | (社福) 兵庫県社会福祉協議会 内 tel078-242-4633 |
| 「くらし再建事業」の継続プログラムの開発と支援 <くらし再建事業支援研究会> | 〔被災者くらし支援、コミュニティ・ビジネス等〕 阪神・淡路大震災の際に立ち上がり、現在活動しているNPO・ボランティア団体等の事業継続ノウハウを整理、東日本大震災被災地等の活動団体の事業継続を支援 | (特非) ひょうご・まち・くらし研究所 内 tel078-351-5511 |
| 全国防災ジュニアリーダー育成合宿 <全国防災ジュニアリーダー育成事業実行委員会> | 〔次世代防災リーダー育成〕 阪神・淡路大震災を契機に広がった防災やボランティアに対する意識を一層強固なものとし、次世代の防災リーダーを育成 | 兵庫県立舞子高等学校 内 tel078-783-5151 |
| 阪神・淡路大震災から未来へ <「阪神・淡路大震災から未来へ」実行委員会> | 〔次世代への継承・国内外への教訓発信〕 高校生・大学生が参加するワークショップを開催し、若者が災害を自らのこととして見つめなおす機会を提供 | 神戸学院大学学際教育機構 内 tel078-974-4042 |
| 次代の地域を担う子どもたちに災害への備えの大切さを伝えるワークショップの実施 <つなぐ手プロジェクト> | 〔次世代継承、今後の災害への備え〕 子ども会を中心とした地域の防災意識の高揚するとともに、地域内コミュニケーションを促進して「つながり」を醸成 | (一社) 兵庫県子ども会連合会 内 tel078-221-4081 |
| 子どもの頃の被災経験を語る <子ども・若者防災研究会> | 〔次世代継承、今後の災害への備え〕 阪神・淡路大震災時の子どもの状況を検証・分析を行い、今後の災害に備える提言を団体や地域社会へ提案 | 兵庫県青少年団体連絡協議会 内 tel078-891-7410 |

| 事業名<グループ名> | 概要 | 問合せ先 |
|---|---|--|
| 学生による「神戸の教訓」・「現場のノウハウ」を発見し継承する試み <阪神・淡路大震災の「記録」・「記憶」を継承し活用する会> | 〔震災資料の継承・活用〕 若い世代が震災資料の調査及び関係者の聞き取り等を実施することを通じて被災時の教訓やノウハウの抽出等学びの成果を発信 | 神戸学院大学地域研究長田センター 内 tel078-647-7782 |
| 防災訓練モデル事業「防災ふれあいウォーク津波災害から自分自身や地域を守るために！」 <防災ふれあいウォーク実行委員会> | 〔津波避難・次世代教訓継承モデル事業〕 ウォークを通じ、津波避難の実践的な知識・意識を高め、要援護者避難等地域のつながりを再認識する機会を提供 | (特非) 日本災害救援ボランティアネットワーク 内 tel0798-34-9011 |
| 震災20周年 共同事業 SUMA あそBOUSAI まなBOUSAI <SUMA あそBOUSAI まなBOUSAI 実行委員会> | 〔地震津波防災(地域防災力向上・観光客対策)〕 観光客が訪れる須磨海岸エリアにおいて防災訓練を実施する等津波避難誘導対策のモデルを示し全国に発信 | 須磨オーシャンサービス 内 tel078-731-6815 |
| まちなか防災スクランブル <まちなか防災スクランブル実行委員会> | 〔地域防災力向上モデル事業〕 商店街空き店舗を利用して、防災展示を常設し、日常の買い物の中に「防災・減災」を持ち込み実践活動に結びつける | (特非) 兵庫県防災士会 内 tel0798-72-1300 |
| 県民フォーラム「今考えよう災害時医療」一船を活用した災害支援— <兵庫県民の医療と福祉を守る会> | 〔災害医療(福祉避難所船)の提言〕 福祉避難所船を活用した海からの支援を可能とする防災行政運用の仕組みづくりを広く県民に広めともに考える | 兵庫県医師会 内 tel078-231-4114 |
| 毎月17日を防災・減災の日～そなえるって、い～な(17)！ <防災・減災の日確立協力会> | 〔一般県民への防災・減災意識の普及・啓発〕 毎月17日を「防災・減災の日」として指定し、新聞・ラジオ・テレビ等を通じて各企業や団体に自主的に防災・減災活動を呼びかけ | (一社) 神戸青年会議所 内 tel078-303-0075 |
| 阪神・淡路大震災から20年 伝える備える活かす防災啓発キャンペーン <防災啓発キャンペーン実行委員会> | 〔一般県民への防災・減災意識の普及・啓発〕 兵庫県で被災した地元メディアが共同で「伝える備える活かす防災啓発キャンペーン」を展開 | (株)ラジオ関西 内 Tel078-362-7375 |
| ITを活用した災害対応体験を通じた、ノウハウの若者への継承・啓発イベント <災害七日前プロジェクト実行委員会> | 〔被災地支援・次世代継承〕 WEBシステムを用いた民間支援の仕組みを構築し、若者がそのシステムや震災経験者の知見を得ながら、避難所運営支援の訓練を実施 | (株)コンプラス 内 Tel078-381-7401 |
| 震災とアスベスト ～阪神・淡路から20年の教訓を全国へ次世代へ～ <震災アスベスト研究会> | 〔震災アスベスト問題の啓発〕 今後の災害に備え、阪神・淡路大震災の教訓、特にアスベストの危険性を広く伝え、平時のアスベスト除去の重要性を啓発 | (特非) ひょうご労働安全衛生センター 内 Tel078-382-2118 |